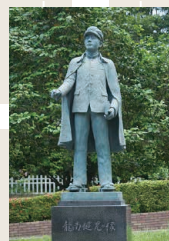


文学部の教育の特色

→ 系統的かつ柔軟で 発展性のある指導

文学部は、1つの学科に9のコースを置き、21という多彩な教育研究領域を有します。2年生進級時に、コースに所属することになります。各コースに用意された教育研究領域の履修モデルを参考にしながら、自分の関心、学習動機に応じた、学習計画を立てることができます。

(P.08「文学部の構成」参照)



← 現代社会に対応した 実践的教育

文学部の学びは実社会と関わりが薄いと思われがちですが、実際は授業やフィールドワークを通し、社会についての問題関心を深め、実践的な知識や経験を積むことができます。人文・社会系の専門分野で活躍するとともに、科学・技術の様々な分野の知識や専門家をつなぎ、それらを編成し直して、新しい価値を創造できる人材を育成します。

→ 個々の学生の関心に 応じる少人数教育

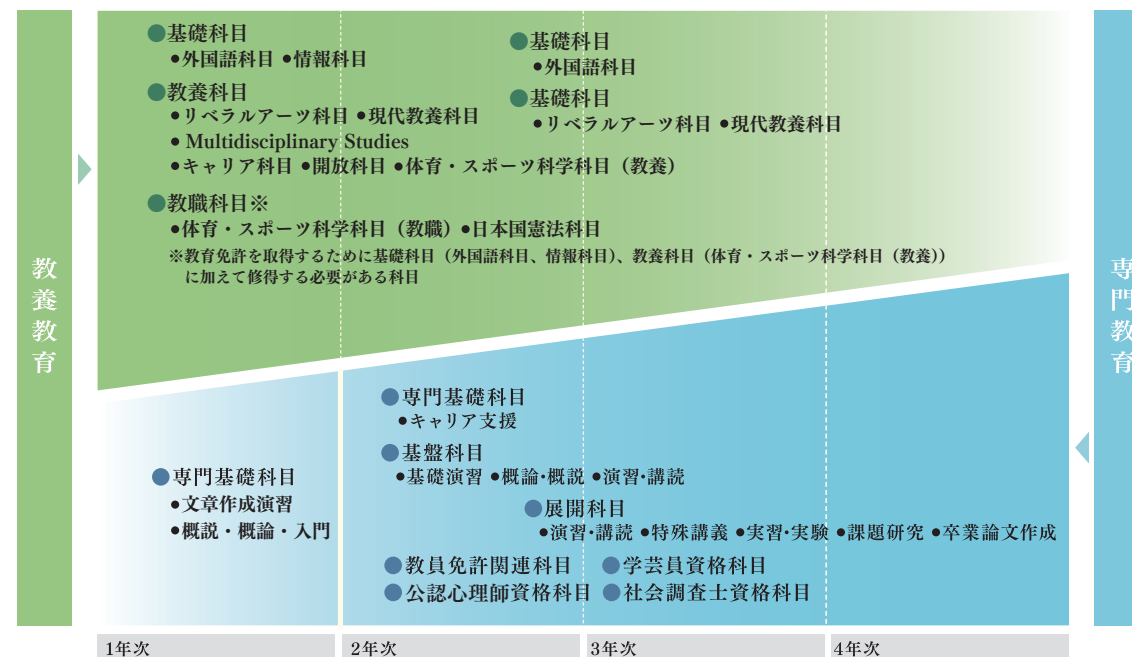
学生約12人に対し教員が約1人の割合という少人数教育の環境で、学習に励むことができます。授業は、知識を伝えることはもちろん、その主眼はそこから学生自身が何かを感じ取り、問題を見つけるための手掛かりとなることです。一人ひとりが「感じ(問題発見)、自ら調べ(資料収集・調査)、考え(分析・考察)ていく」、それを教員がサポートします。

← 総合的な メディア・リテラシー教育

整備された学内のコンピュータ・ネットワーク環境を積極的に活用しています。1年次に情報機器の利用法を学び、学習に使用できるようになります。また、文章を読み解き、自らの見解を筋道立てて書いたりプレゼンテーションしたりする技能を習得する授業も用意。総合的なリテラシーの育成を目指したカリキュラムを組んでいます。

履修課程(カリキュラム)

特定分野の専門知識や技術を身につけるだけでなく、今を生きる人として求められる「総合力」を涵養することを重視しています。幅広い知識や多様な考え方・アプローチ・方法を獲得・理解するための教養教育を学びながら、それぞれの専門分野(研究領域)に次第に進んでいくカリキュラムが組まれています。



教養教育

教養教育は、多様で俯瞰的な視野・視点で物事を理解し考える素養や力を養うとともに、グローバル社会、情報社会を生き抜くための能力を身につけることを目的としています。語学や情報リテラシー、キャリアなどに関するスキル系科目、多様な学問領域の視点や考え方を体験しさらに深めることができる科目、現代社会の問題をグローバルな視点から考える科目、などが体系的に提供されています。

専門教育

専門教育は、それぞれの教育研究領域の理論や研究手法を系統的に学んだうえで、自分独自のテーマを発見、指導教員のもとで研究を深め、卒業論文を執筆することを目標に構成されています。1年次は、学科を構成する学問領域の基礎を学び、2年進級時に専門領域を選択します。また、専門領域における各種の資格取得などを旨とする科目も提供されています。